

# JR東労組盛岡

No, 141  
2022年5月27日  
東日本旅客鉄道  
労働組合  
盛岡地方本部

〒020-0045  
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号  
発行人 佐々木克之  
編集人 情宣部  
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157  
JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

## 盛地申13号

### 「盛岡支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について(その2) (北上営業統括センター)」に関する申し入れ

盛岡地本は4月25日に「盛岡支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について(その2)」の提案を受け、組合員との議論を行ってきました。本施策は、3月に発足した「青森営業統括センター」「気仙沼統括センター」に続く設置であり、「社会の急速な変化を踏まえ、グループ経営ビジョン「変革2027」の目指す「鉄道起点のサービスからヒト起点のサービスへの転換」に向け、システムを超えて新たな価値の創造を一層推進していく観点から、社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大させていく」ことを目的に現業機関を新設することを目的としています。現在実施されている「青森営業統括センター」と「気仙沼統括センター」では、柔軟な働き方をめざして組合員・社員が施策を担い、職場で奮闘していますが、まだ課題がある中で新たな現業機関の設置であり、職場からは不安の声が多く寄せられています。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で、全社員一丸となって安全安定輸送の確保とサービス品質の向上、お客さまのご期待に応える「輸送サービス」の創出に向け取り組んでいかなければなりません。これまでの役割にとらわれないフレキシブルな働き方を実現していくためには、全社員の「安全・健康・ゆとり・働きがい・豊かさ」が担保された業務体制の構築が必要です。従って下記の通り申し入れをしました！

## 申し入れ項目



1. 本施策を実施する目的と、北上営業統括センターを新設するに至った経緯を明らかにすること。また、本施策によってどのようにモチベーションが向上するのか明らかにすること。
2. 北上営業統括センターにおける「融合」「兼務」「連携」の考え方を明らかにすること。
3. 北上営業統括センター新設に伴う業務に必要な教育内容、スケジュールを明らかにすること。また、業務に必要な要員は確保すること。
4. 通勤の考え方を明らかにすること。また、勤務地が日ごとに異なる中での通勤用新幹線定期券の購入するタイミングを明確にし、不利益とならないようにすること。
5. 働き方のイメージを日及び時間単位で明らかにすること。また勤務作成時の指定方法を明らかにし、前泊を前提としないこと。
6. 個人ロッカーの設置箇所を明らかにし、個人ロッカーがない箇所へは共用ロッカーを整備すること。また、制服を忘れた場合の取扱いを明らかにし、制服の持ち運び回数が少なくなるよう、箇所への連続出勤等の対応を行うこと。
7. 事業便が本人宛に送付される場合はどこの駅に送付されるのか明らかにし、本人に伝達できる体制を構築すること。
8. 施策説明については継続して社員の声を把握し、質問にはしっかり返す体制を構築すること。
9. 施策に伴う面談等を行い、本人希望を把握し考慮すること。

## 安全で働きがいのある職場をみんなで創ろう！